報道発表資料

2012 年 5 月 11 日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、主力製品「ASTERIA」の導入社数が 3,000 社を突破
～ クラウド連携、スマートデバイス対応を進め企業情報システムの進化に寄与 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、インフォテリア）は、EAI/ESB(※1)製品の国内市場において 6 年連続シェア No.1(※2)製品であるデータ連携ミドルウェア「ASTERIA (アステリア)」の導入社数が 2012 年 4 月末現在で累計 3,000 社を超えたことを発表します。

ASTERIA は、異なるコンピューターシステムのデータを、プログラミングなしで連携できるデータ連携ミドルウェアです。EAI/ESB 製品の国内市場において 46.9%のシェアを獲得※2 しており、企業向けデータ連携ミドルウェアのデファクトスタンダードです。

最近の ASTERIA の導入においては、企業情報システムのクラウド化を促進する基盤として導入されるケースや、企業の資産である『データ』を保全し、可用性・柔軟性を高めるために導入されるケースなどが特徴的です。

また、2012 年 1 月から最新バージョン ASTERIA WARP4.6 の提供を開始し、インフォテリアが提供する、iPad/iPhone/Android 向け情報配信サービス「Handbook」との連携を強化するなど、バックエンドシステムからスマートフォンやタブレットといったフロントエンドまでのデータ連携を実現しています。

2002 年 6 月の出荷開始以来、ASTERIA の導入社数の推移は、以下の通りです。

2003 年 3 月末	2004 年 3 月末	2005 年 3 月末	2006 年 3 月末	2007 年 4 月末	2008 年 3 月末
20 社	78 社	150 社	251 社	362 社	462 社

2009 年 3 月末	2010 年 3 月末	2011 年 3 月末	2012 年 3 月末	2012 年 4 月末
660 社	1,335 社	2,124 社	2,990 社	3,033 社

インフォテリアは、これからも変化を続ける企業情報技術ニーズを先取りし、「つなぐエキスパート」として、企業活動の革新に貢献してまいります。

■インフォテリア株式会社について

1998 年に国内初の XML 専業ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。

主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 3,000 社以上（2012 年 4 月末現在）の企業に導入されています。

また、パソコン上のデジタル文書を、クラウド経由で iPhone/iPad/Android などのスマートフォン、タブレットに配信するサービス「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料など、あらゆる業務文書をタブレットで持ち歩くツールのスタンダードとして多くの先進企業や公共機関で採用されています。

→ http://www.infoteria.com/

※ Infoteria およびインフォテリアは、インフォテリア株式会社の商標です。
※ HandbookおよびASTERIAはインフォテリアの登録商標です。
※ Apple、Appleのロゴは、米国および他国のApple Inc.の登録商標です。
※ iPadはApple Inc.の商標です。
※ Androidは、Google Inc.の登録商標です。
※ 本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。

※1 企業データ連携：Enterprise Application Integration / Enterprise Service Bus
※2 テクノ・システム・リサーチ「2010～2011 ソフトウェアマーケティング総覧 2012 年版」

■本リリースに関するお問い合わせ先
インフォテリア株式会社　広報担当：嶋　かおる
TEL:03-5718-1297　FAX:03-5718-1261
E-mail: press@infoteria.com